



中学生によるシードル事業体験学習

ビジネス部門

長野県飯綱町

北信五岳シードルリー

株式会社



シードル醸造でりんご農家と消費者が協働

りんご産地と廃校に希望を灯すシードル醸造

概要

- りんご酒「シードル」の商品開発、醸造の学び舎、ツーリズム拠点として新たな食酒文化と産地形成に取り組む。

該当カテゴリ

若者・学生の活躍

教育機関との連携

6次産業化

成果

- 消費者に買いやすく飲みやすい商品を提案、農家のブランド形成にも効果があるシードル造りに挑戦する若手りんご農家が増え、農家が製造過程に参加することで商品にストーリーが生まれ、醸造技術やマーケティングも学べます。
- 飯綱中学校1年生の「総合的な学習」の中で、シードル製造事業をテーマに授業を行っており、生徒がりんご畑に赴き、シードル醸造を体験するだけでなく、商品企画や販売についても模擬体験することで、地域密着型ビジネスを学んでいます。完成したシードルは、ふるさと納税の返礼品に採用され、教育予算確保への貢献も目指します。
- 開業希望者、販売店、飲食店、消費者等を対象とするシードル醸造体験付き教室を開催し、未来のシードル醸造技術者を育てるだけでなく、シードルの販売や商品、日本のシードル市場の成長を支える人を育てる取り組みです。
- 飯綱町が英国王立園芸協会より贈られた16種類の外国産品種と国産生食用品種をブレンドすることでシードルの香味が改善し商品価値が向上することを実証し、りんご農家と共有することで新たな商品開発につなげています。



農家等が参加するシードルの学び舎の授業



関東農政局長野県拠点
地方参事官より選定証授与